

本文
50P

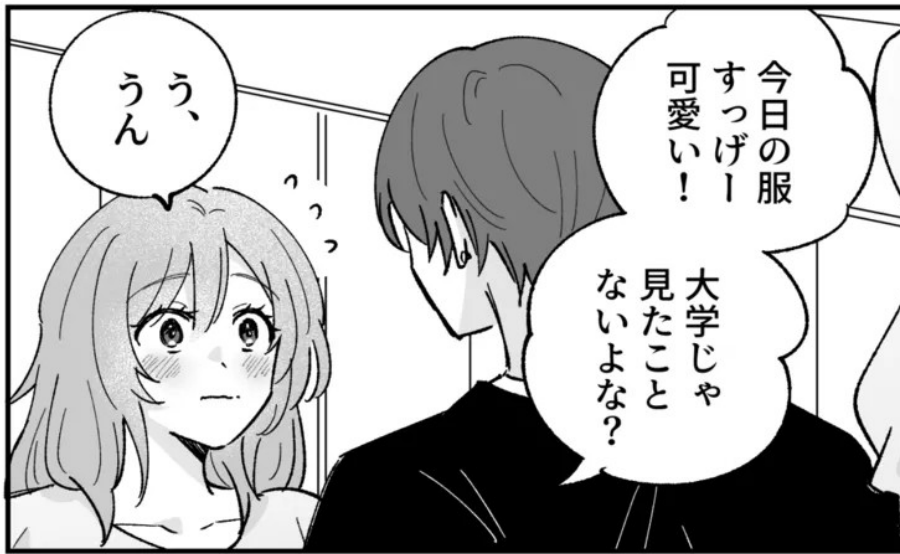


彼氏持ちの

幼馴染を

これから

寝取ります





~~~~ツツ  
すっぴんく  
似合ってるよー!

なんかまだ  
夢みたいだ…  
紗夏と付き合ってる  
なんて…

いやいや  
マジだって!  
俺絶対断られると  
思ってたし…

だからほんと…  
嬉しくて

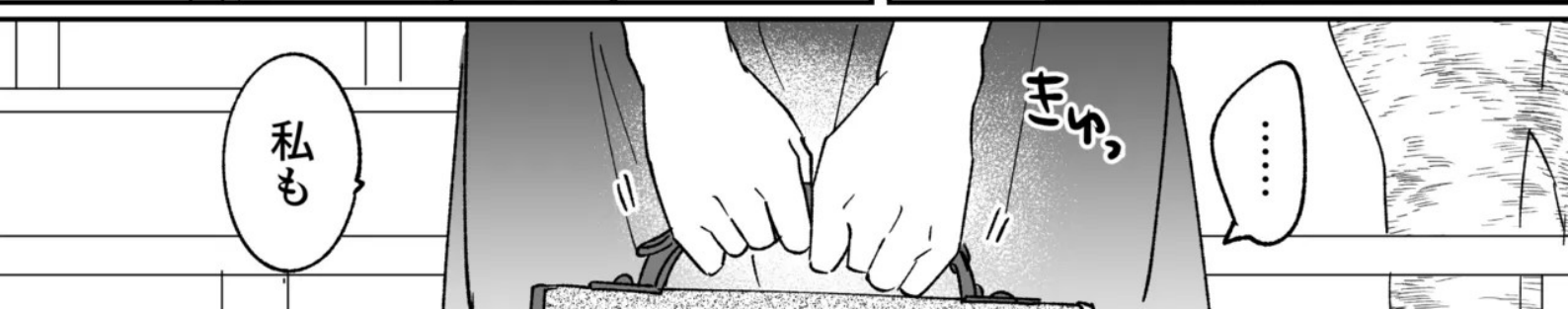
そんな…  
大げさだよ



絶対、絶対  
幸せにするから!

…ってこれじゃ  
プロポーズみたい  
だな…はは

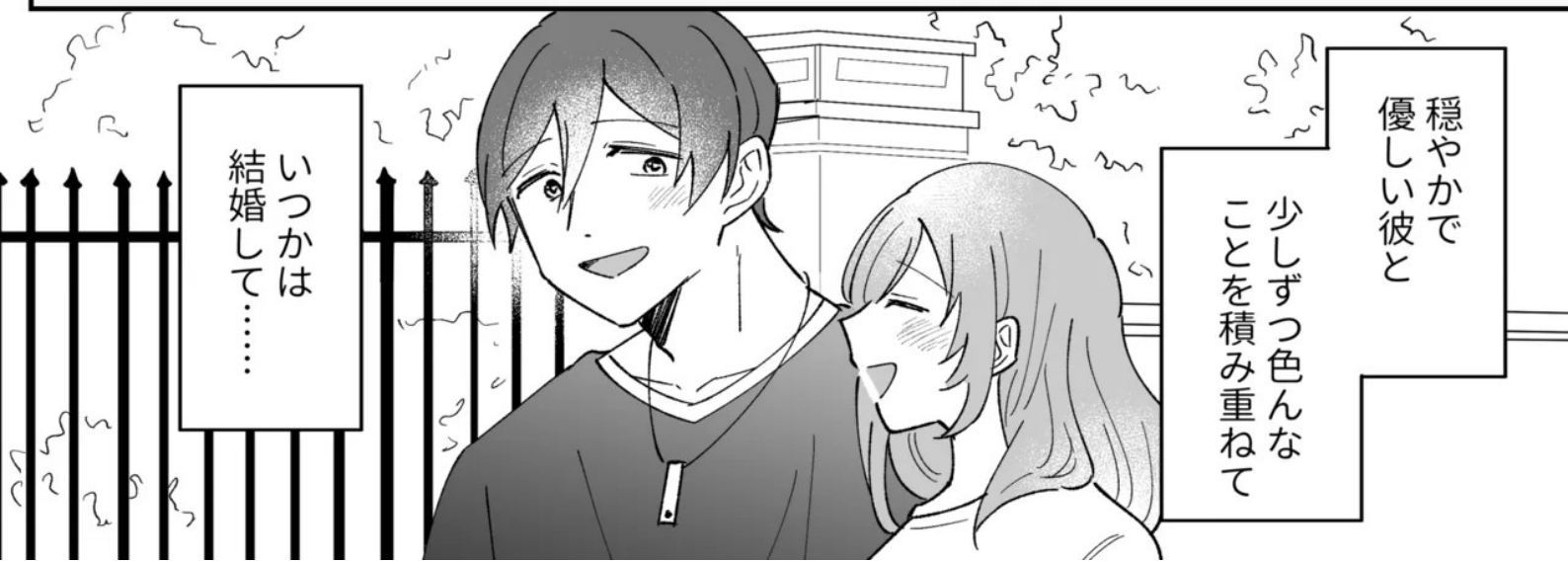
!



私も

ぎゅ、

…



—そんな未来が  
当たり前に来るのだと  
思っていた

ガ  
チュッ

お  
お  
お

ガ  
チュッ

お  
お  
お



ド  
ン  
ッ

ヒ  
ン  
ッ

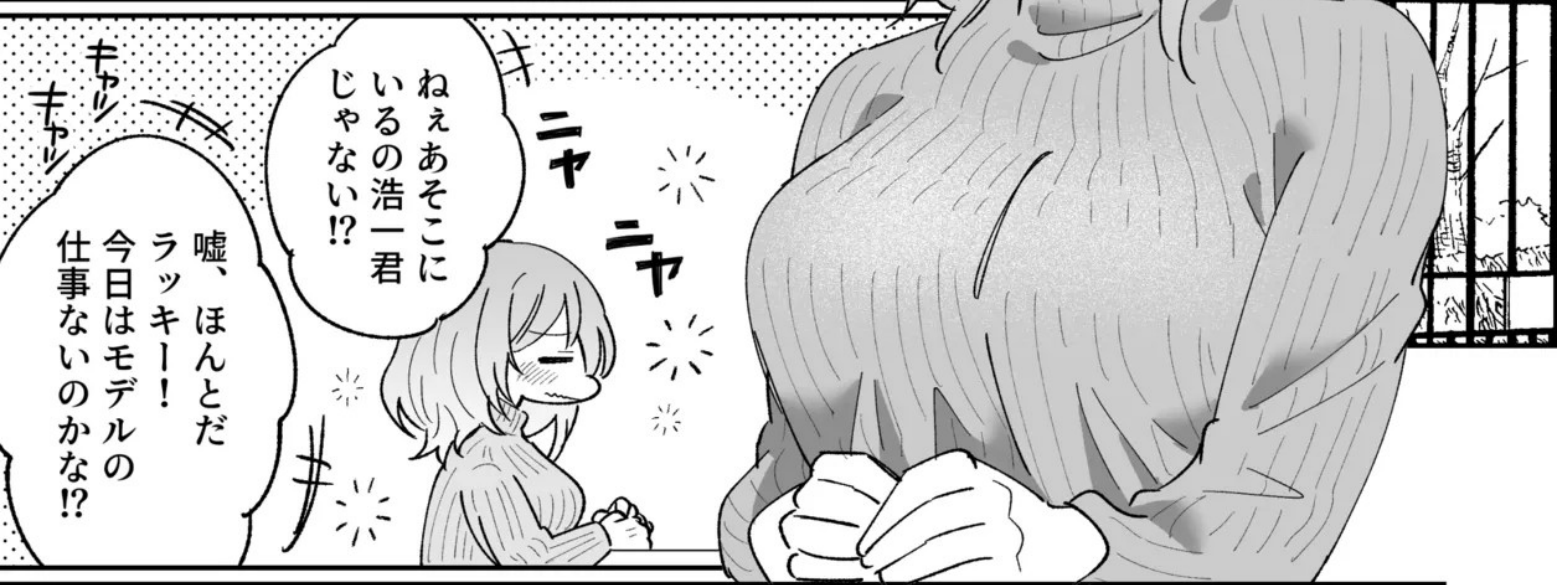
ヒ  
ン  
ッ

ヒ  
ン  
ッ

ヒ  
ン  
ッ

ヒ  
ン  
ッ





コウちゃん  
久しぶりに見たな…

また背  
伸びた…？

昔は女の子みたいに  
可愛かったのに

すっかり  
かっこよくなって…

コウちゃん  
ほらこっち  
こっち！

ま、待ってよ  
さなちゃん…

今は冗談  
なんだけど…

もう、ほんとに  
コウちゃんは  
私がいないと  
ダメなんだから

うん…ぼく  
さなちゃんが  
いないと何も  
できないから…

だ、だから…  
だからね  
さなちゃん…

ぐす、  
ぐす、

ぼくとずっと  
一緒にいてくれる？

アイツさあ、  
浩一君の何なの？

家が隣だか  
知らないけど  
調子乗ってない？

自分が三尾君の  
特別だって勘違い  
してるんでしょ

浩一君も  
纏わりつかれてて  
かわいそう

紗夏？

どうかした？  
一緒に帰ろう

あ、え、  
うん……

……あのさ

もう一緒に  
帰るの  
やめない……？



……

周りの  
目も……



ほら、私たち中学生に  
なったんだし  
いつまでも子どもみたいに  
べったりなのもさ……!

え……



あっ  
紗夏……!

タッ

と、とにかく  
そういう  
ことだから!



さな

な



びっくりした……  
どうしたの?

こっちの台詞!  
私の話聞いてた?

す、すいません……  
聞いてませんでした……



紗夏  
ってば!

わっ

ひゅっ

それで話って？

…お願い！

今日の合コン  
紗夏も参加して  
ください！

は!?

いやいや私は  
そういうのは…  
彼氏いるし…

え!?

もちろん分かってる！  
でも一人体調悪くて  
来れなくなっちゃって…

SORRY…

ガーン

お金はこっちで  
出すから！  
紗夏はタダ飯  
食べに行く  
ぐらいで思っ  
てくれれば  
いいから！  
人助け  
だと  
思っ  
て  
ね!?  
ね!?  
ね!?

うわぁぁん!!!

そう  
言われても…

つばさ君なら  
話せば分かって  
くれるって!ね!?

う、うん…

分かった  
帰り迎えに  
行こうか?



ジュウジュウ...

んじや  
乾杯〜!



飲み物  
行き渡った  
か?!

は〜い

くそ! 案の定  
全員三尾狙い  
じゃねーか!!  
誰だよ連れて  
来た奴!

噂になってた  
読モの人とは  
どうなったの?

まさか本当に  
浩一君に会える  
なんて〜! 今日  
来て良かったあ♡

浩一君こういう  
ところ来るイメー  
ジ  
なかったから  
意外〜

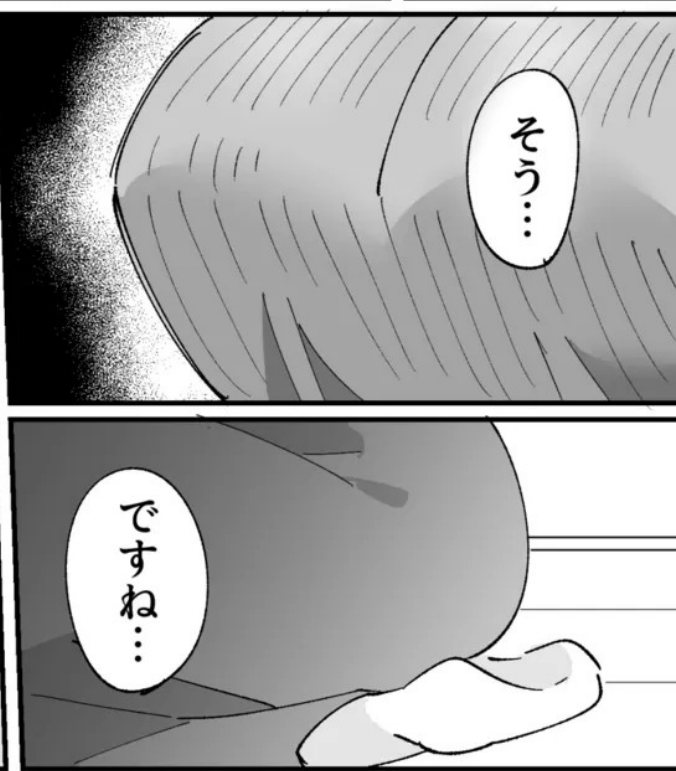
だってそれぐらい  
しないと来てくれる  
女子いなかったんだよ!

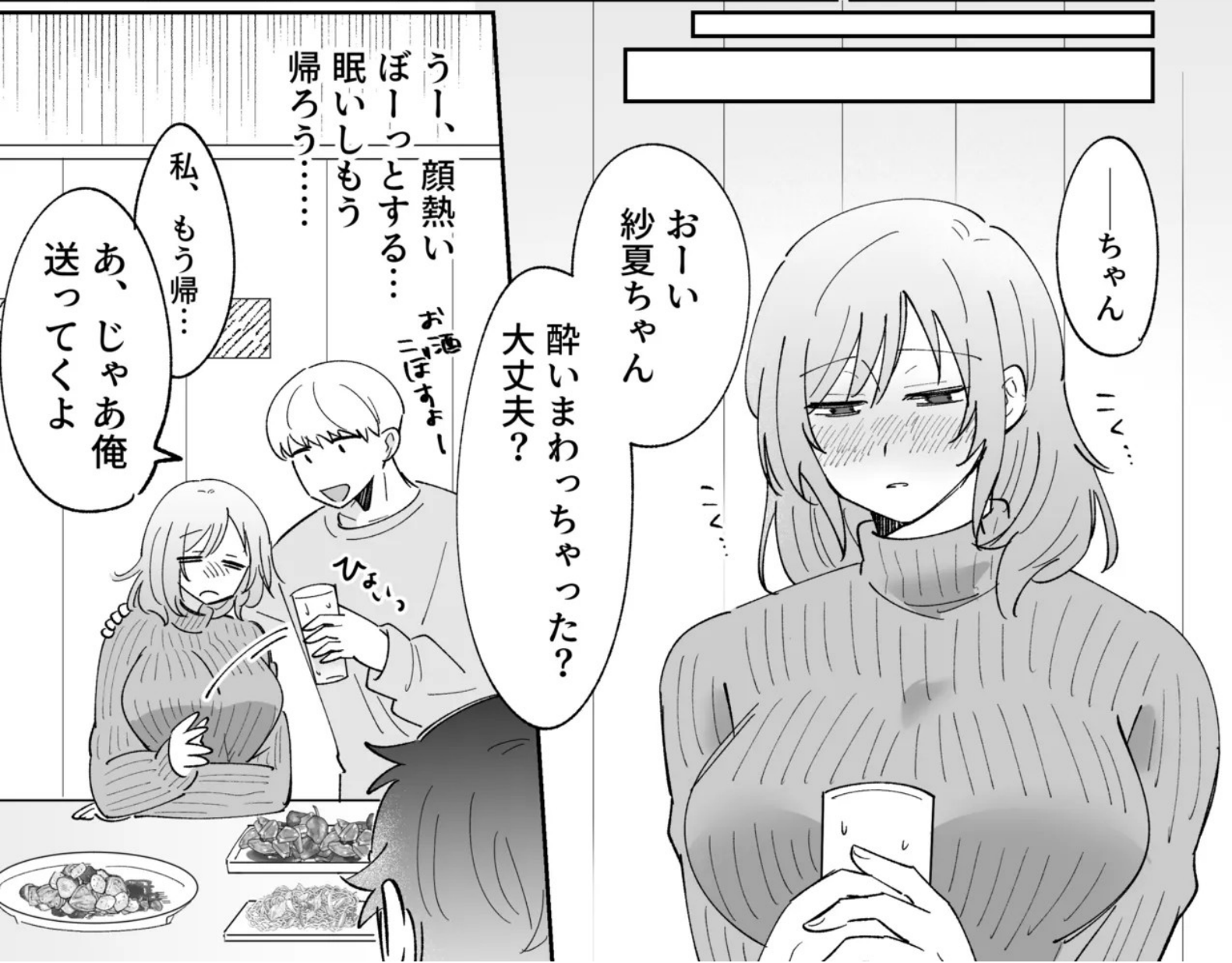
帰りた〜い...

ザワ

ザワ  
ワイ











1955

ん...

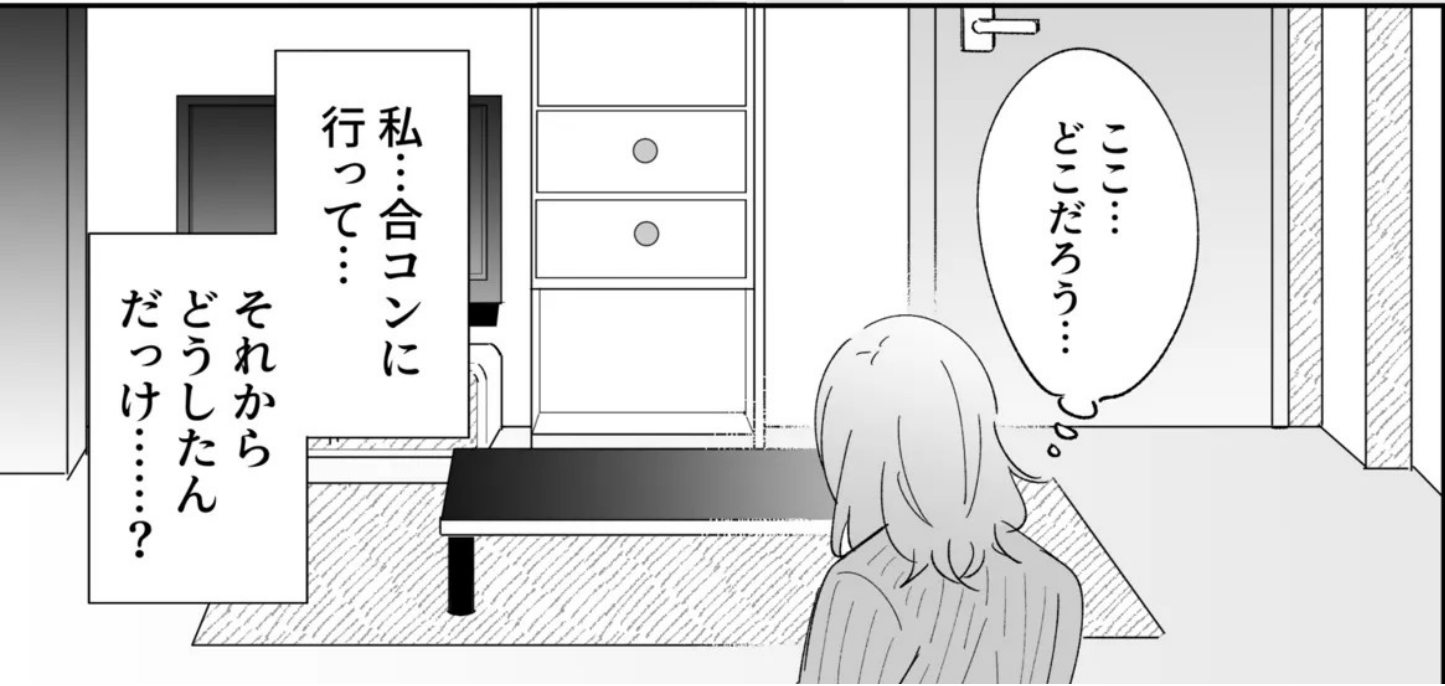


なんで...

.....あれ?



むく



どこだろう...

私...合コンに行っ...

それから  
どうしたんだっけ...?



え、いや…

友だちに頼まれて…  
つばさ君にはちゃんと  
許可取ったし…

なんで彼氏  
いるの知って  
るんだろう

ふうん…

それで簡単に  
許可したんだ

彼氏くん、本当に  
紗夏のこと好きなの？

普通合コンなんかには  
恋人行かせないでしょ

なっ

そんなのこ…  
三尾くんには  
関係ないでしょ！

つばさ君はちゃんと  
私のこと大事にして  
くれてるし…ッ

それにっ  
私なんかには

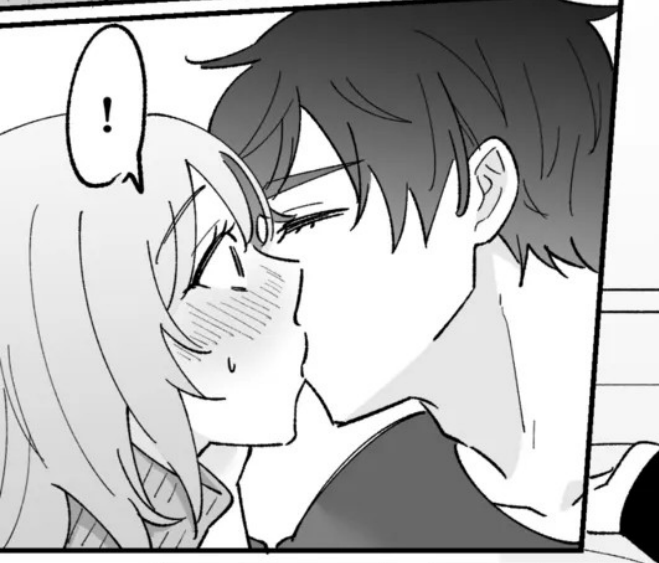
か  
けど  
てない？

自分が三尾君の  
特別だって勘違い  
してるんでしょ

浩一君  
纏わり  
かわいそ

手を出す人  
なんて…

いるよ









離して

どうして?!

紗夏も  
望んだこと  
でしょ?



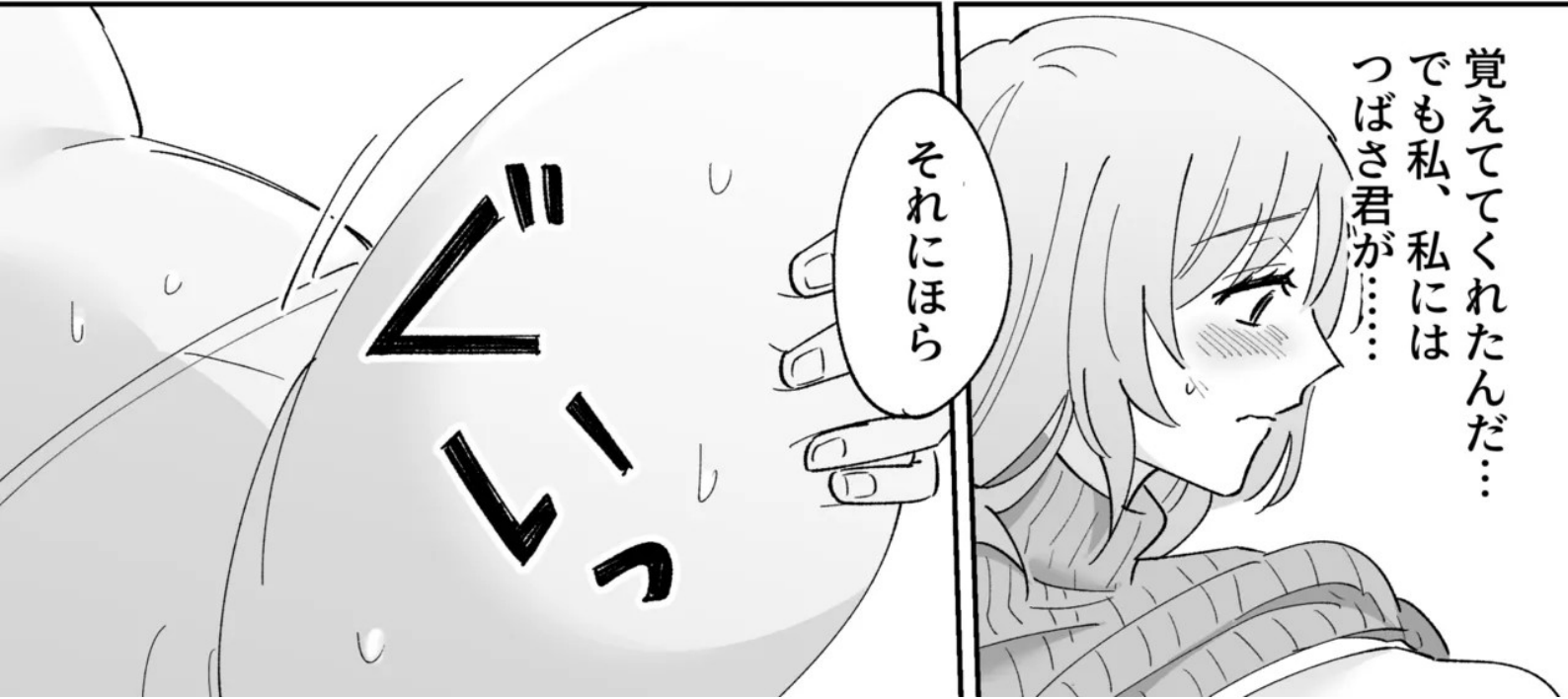
え…

ずっと一緒に  
いるって約束

忘れたわけじゃ  
ないよね?

ぐわ

昔の約束…



覚えててくれたんだ…  
でも私、私には  
つばさ君が…

それにほら

ぐわ



あっ

ほら、もう  
こんな  
濡れてる

ヒューッ



こんなのダメなのに  
逃げなきゃいけないのに

大丈夫  
気持ちいいこと  
しかししないよ

かき回されてるところが  
じんじん痺れて…  
何これ 変なの来ちゃうっ

ん♡

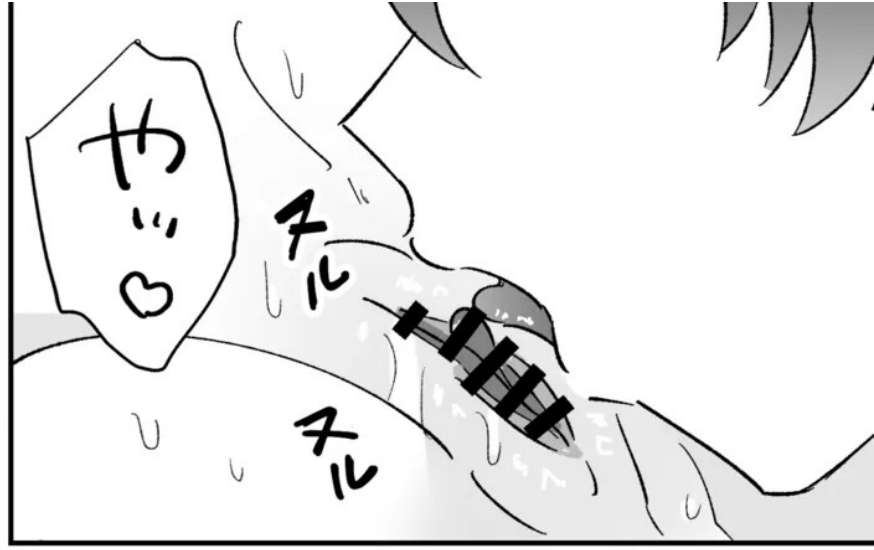
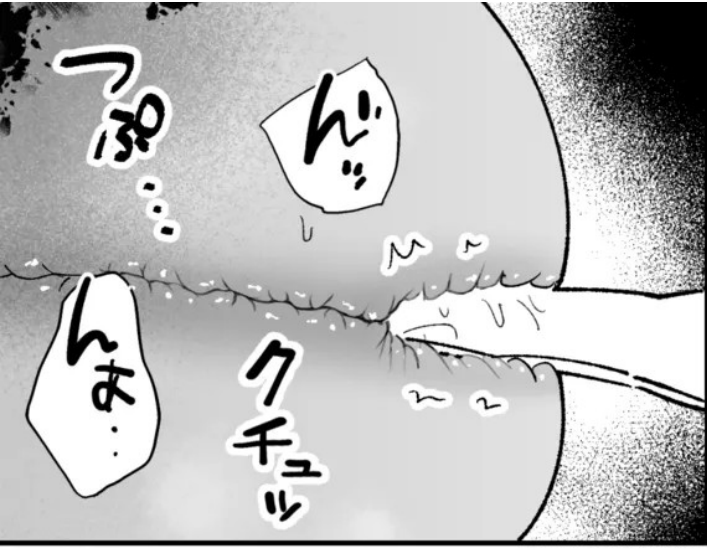
あ♡

くちゅっ

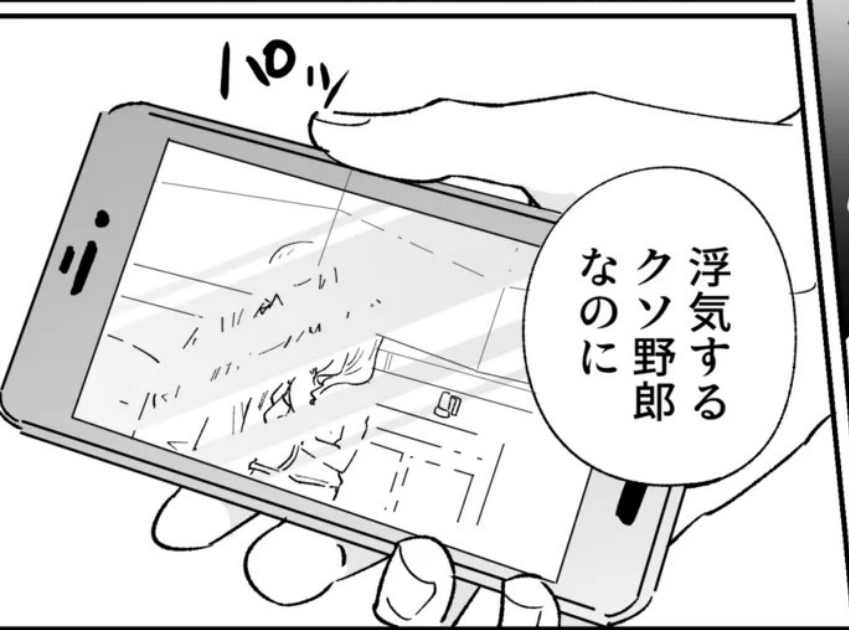
ちゅ♡

しゅ♡











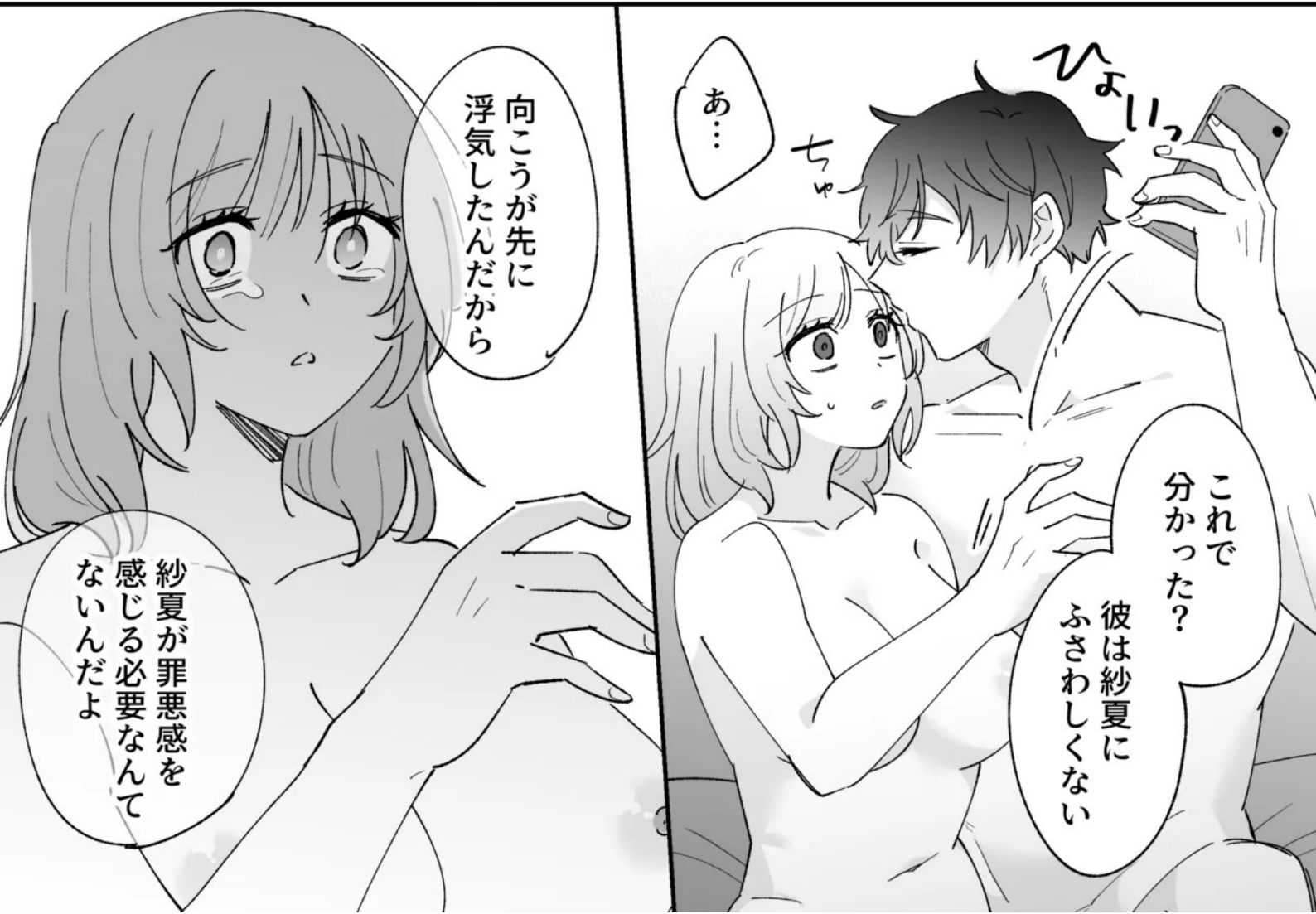
見る?

何...これ...

他にも  
あるよ

つばさ君...

なんで...



向こうが先に  
浮気したんだから

紗夏が罪悪感を  
感じる必要なんて  
ないんだよ

あ...

びよっ

これで  
分かった?

彼は紗夏に  
ふさわしくない





見て

なにこれ

お腹  
どくどくしてる

ようやく紗夏と  
繋がれた

気持ちよく  
なっちゃだめ  
なのに

あ

あ



僕のことだけ  
考えてよ

あんな男のこと  
なんて忘れて

僕だけ見て

中が勝手に  
締め付けちゃう...♡

はっちゃん

あ

はっちゃん

はっちゃん

あ



コウちゃんの熱くて  
硬いものが奥まで  
突いてきて



紗夏  
分かる？



持って  
かれそう...





こんな  
コウちゃんも  
全部

全部  
知らない...♡♡

あーん

おっ

おっ

おっ



何これ...  
こんなの知らない

こんな/  
気持ちいいのも

あーん

あーん

おっ

おっ



違うの？  
でも紗夏

ちがっ...

乳首好き？

締め  
良くなったね

あーん

あーん

おっ

おっ

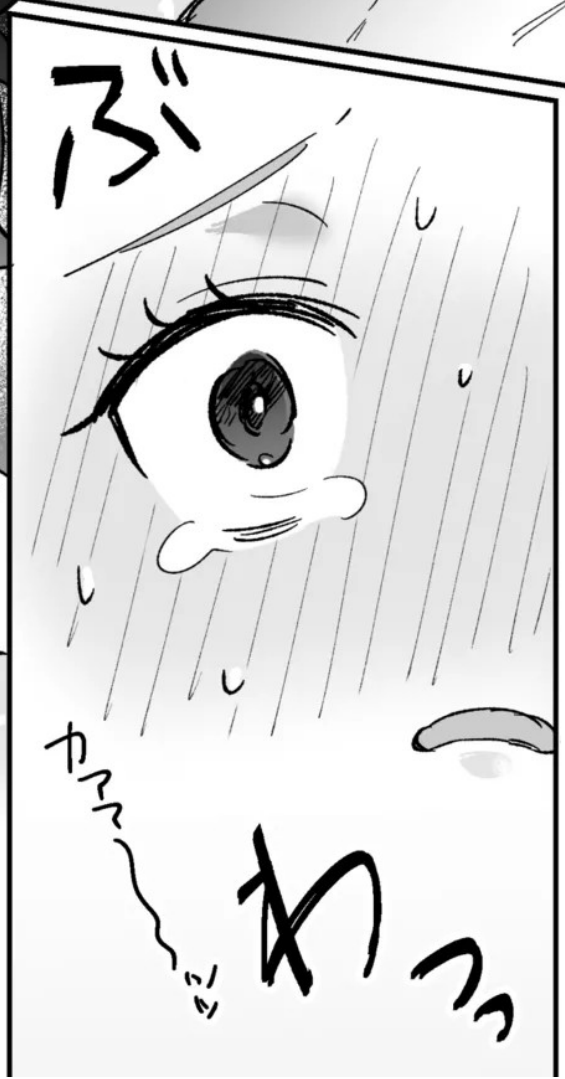
おっ

おっ



自分から腰  
動かしてるよ

びちゃ



ぶ

わん



うん  
可愛いよ

あ...ちがつ  
私、  
ンう

ん

ん







はあ...

はあ...

紗夏...

はあ...

はあ...



ねえ紗夏...  
僕ちゃんと紗夏に  
相応しい男に  
なっただろ

キリッ




んむ  
えろっ



.....




もう紗夏の後ろに  
隠れてるだけの  
僕じゃない  
ちゃんと  
紗夏のこと  
守れるよ




女の子みたいに  
可愛かった  
コウちゃん

もうすっかり  
男の人の身体に  
なっていて

私の手の  
届かないところに  
行っちゃったと  
思ってた



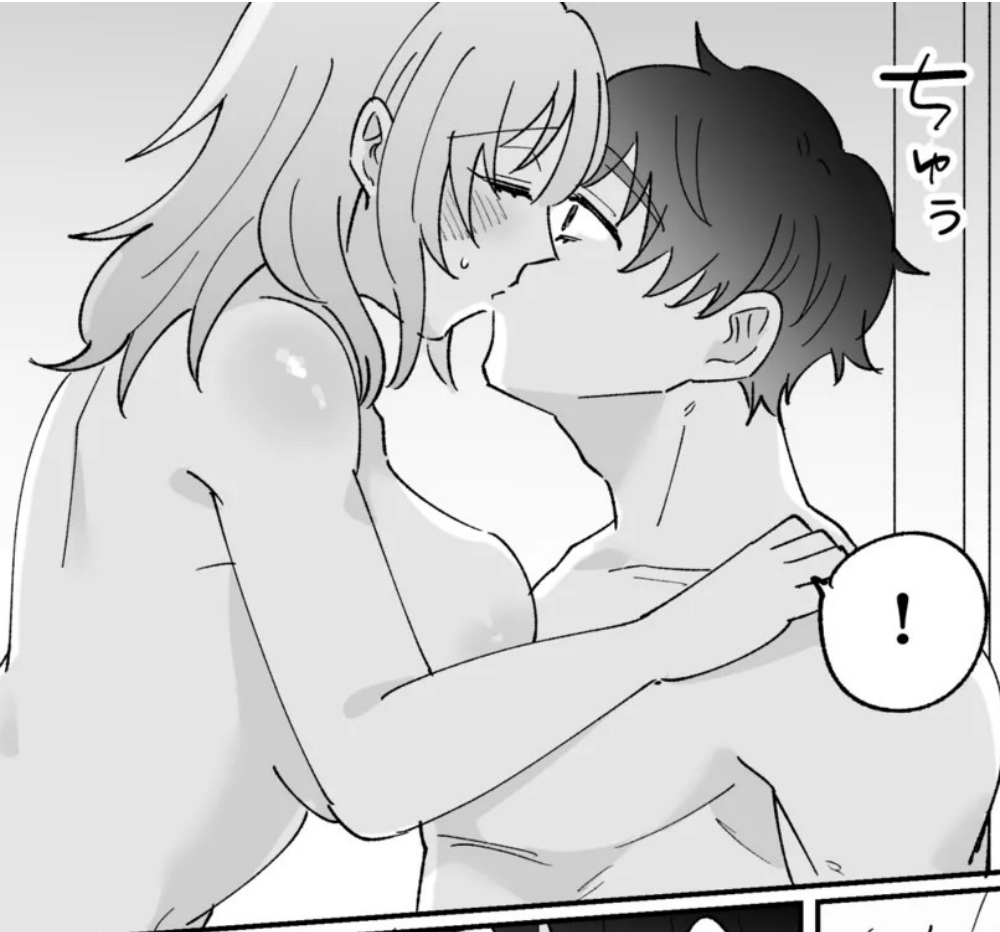
だから  
僕を選んで



私が勝手に  
そう決めつけていた  
だけで

コウちゃんは  
コウちゃんのまま  
だったんだ

でも違った







コウちゃんの  
ものにして...♡

私を

♡...♡



あ

164

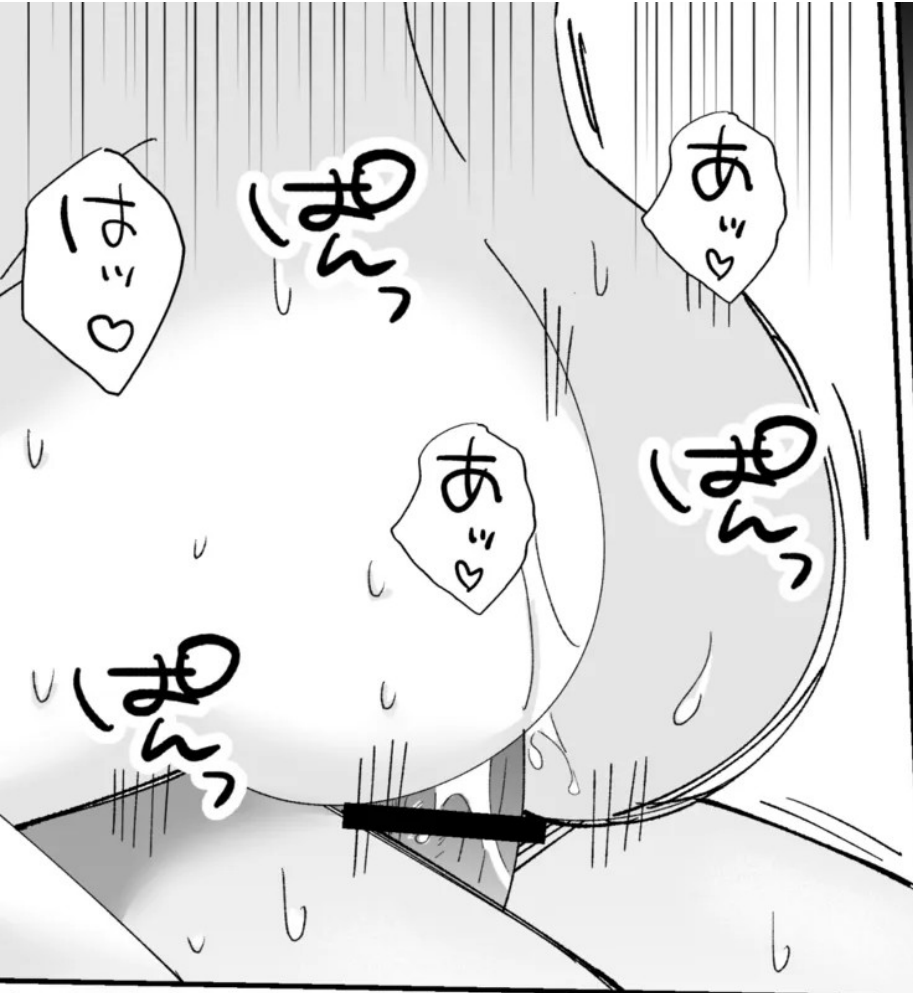


♡



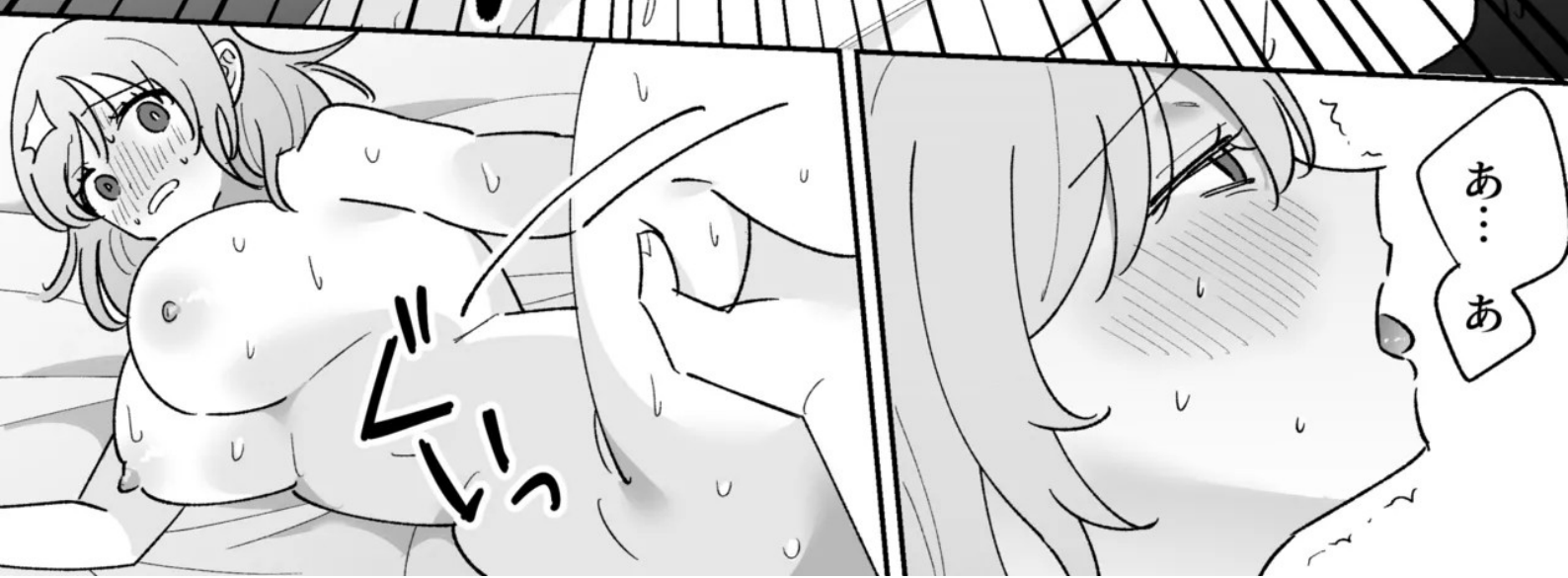
♡...♡

♡...♡





ごめん  
もう限界



あ...あ





だ、だめ  
そこ触るのっ  
やあ...♡



ん、  
イキそう...?  
僕も...  
一緒に  
いこうね...♡

やだっ



ゴッ

ゴッ



ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ





ああ…いいよ  
こっちの目的も  
達成できたし

やっとかう！  
幼馴染の子だっけ？  
その子も気の毒にねえ

彼氏と別れさせる為に  
別の女送りつけるような  
激ヤバ男に目つけられ  
ちゃって



…引つかる方が  
悪いんだよ

やれれば誰でも  
良かったんでしょ

ああ…今日中には  
振り込んでおくよ

毎度〜！

ガキッ

……



言うよね〜  
ま、私はお金さえ  
貰えればいいけど





「もお、  
コウちゃんは  
しょうがないなあ」

キッ



カチャ



ずっと  
一緒だよ

約束ね！



……おかえり  
紗夏

もう約束  
破っちゃだめだよ



家にいる時は大体  
髪をまとめている。

## 朝比奈 紗夏

元々活発な性格だったが  
浩一がモテるにつれて陰口を  
言われるようになり  
できるだけ目立たないような  
言動に。

浩一と付き合いはじめて  
からは二人きりの時は  
少し言動が昔っぽくなる。





## 三尾 浩一

紗夏の前とそれ以外では態度があからさまに違う。紗夏がつけていた元カレとお揃いのブレスレットは合コンから連れ帰った時に捨てた。

紗夏のごとはこっそり（周囲の人間を使って）見守っていたが晴れて恋人になったので堂々と位置共有アプリや共有カレンダーを使いだす。

この度は  
ご購入いただき  
ありがとうございます  
ございました!

昔を思い出して泣いた



紗夏が家にいる  
現実に感極まっ  
ちゃって…

同棲して  
何日経ったと  
思ってるの…

ごす

